

目 次

第 28 回学術集会 特別講演「韓国における馬文化の現状と展望 —韓国在来馬（チョランマル）の保護活動と韓国馬文化の発展—」 平成 27 年 12 月 1 日（東京大学 農学部） 座長：南保 泰雄（帯広畜産大学）	
はじめに	1
【講演】韓国における馬文化の現状と展望 —韓国在来馬（チョランマル）の保護活動と韓国馬文化の発展— 康 珉秀	2
特別記事	
2015 年度馬事文化賞受賞作『颯風の王』（河崎秋子著）	三浦 暁子 23
Journal of Equine Science Vol. 27 No. 3, September 2016 和文要約	26
お知らせ	29
協賛団体名・賛助会員名簿	30
Hippophile 投稿に関する基準	31
編集後記	

Hippophile No. 66

- 編集委員 -

編集担当常任理事	田谷 一善（東京農工大学）	
編集委員長	楠瀬 良（日本装蹄協会）	
編集委員	相川 貴志（地方競馬全国協会）	永井富美子（エディター）
	石田 信繁（JRA 競走馬総合研究所）	沼田 恭子（NPO 法人引退馬協会）
	近藤 誠司（北海道大学）	三浦 暁子（エッセイスト）
	末崎 真澄（馬の博物館）	守谷 久（道新観光）
	杉本 篤信（競馬保安協会）	山口 洋史（全国乗馬倶楽部振興協会）
	関 正喜（ジャーナリスト）	山野 浩一（作家）

表紙絵：騎手（The Jockey）：アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）1899 年 49.8×34.1 センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science